米空母艦載機の着陸訓練の中止を求める要請

９月１日、防衛省から突然、空母ロナルド・レーガン艦載機の着陸訓練を、９月１日から６日までの間、厚木基地で実施する旨の連絡があった。

県や基地周辺自治体が、厚木基地を使用せず、全ての訓練を硫黄島で実施するよう、機会あるごとに要請してきたにもかかわらず、人口密集地域にある厚木基地で再び訓練が実施されたことは、極めて遺憾である。

激しい航空機騒音は、日ごろから騒音被害に苦しめられている多くの住民に、さらに耐え難い苦痛を与え、断じて容認できるものではない。

貴職におかれては、多くの住民の声を真摯に受け止め、直ちに訓練を中止し、恒常的な空母艦載機訓練施設が確保されるまでの間の着陸訓練は、すべて硫黄島で完全実施されるよう、強く求める。

平成２９年９月５日

厚木航空施設司令官　ロイド・Ｂ・マック大佐　殿

神奈川県議会議長　佐　藤　　光